

# 臼尻水産実験所について

## 1. 正式名称：北海道大学北方生物圏フィールド科学センター臼尻水産実験所

〒041-1613 北海道函館市臼尻 152  
電話&FAX 0138 (25)-3237 (事務室)  
0138 (25)-5088 (研究室)

<http://www.hokudai.ac.jp/fsc/usujiri/usujiri.html>



図 1. 臼尻水産実験所。 左：宿泊所、右：管理実験棟

### 施設の概要

昭和 45 年(1970)、遠隔地で手狭になった忍路臨海実験所の代替に「北海道大学水産学部附属臼尻水産実験所」として設立された。所在地の函館市臼尻町は、函館市中心部から北東に約 40km 離れた太平洋に面し、千島寒流の強い影響を受けるが、沖合は津軽暖流水との混合水域にある。そのため、生物相は極めて豊富であり、動植物および海洋を調査・研究対象とする水産動植物学、動物行動学、海洋生態学、水産増殖学、水産工学の研究、技術開発などに利用されている。敷地面積は 4,491m<sup>2</sup>で、そこに実験棟、宿泊棟、ゲストハウス、官舎を持つ。宿泊棟は最大 74 名を収容することが出来、自炊設備が備えられている。

当初、水産学部学生の実習と、教官および大学院生の研究の場を提供することを目的として設立されたが、平成 13 年(2001)に北大における野外教育研究の一層の発展を目指し、理学部、農学部、水産学部の野外実習施設が機構統合し新設された「北海道大学北方生物圏フィールド科学センター」に改組となった。現在では、地球環境科学学院をはじめとして北大他部局や国内海外の大学などとの実習や共同研究も多くなってきた。特に、各種の海産生物幼生、仔稚魚からイルカまでの様々なスケールの飼育設備、寒冷水域でのダイビング調査設備、さらに組み換え、増幅、シーケンスなど遺伝子実験機器の整備を進めた結果、この 10 年間の利用頻度が急増し、実験所所属学生・院生を含めると、最近の年間利用者数は延べ 5,000 人を超えている。

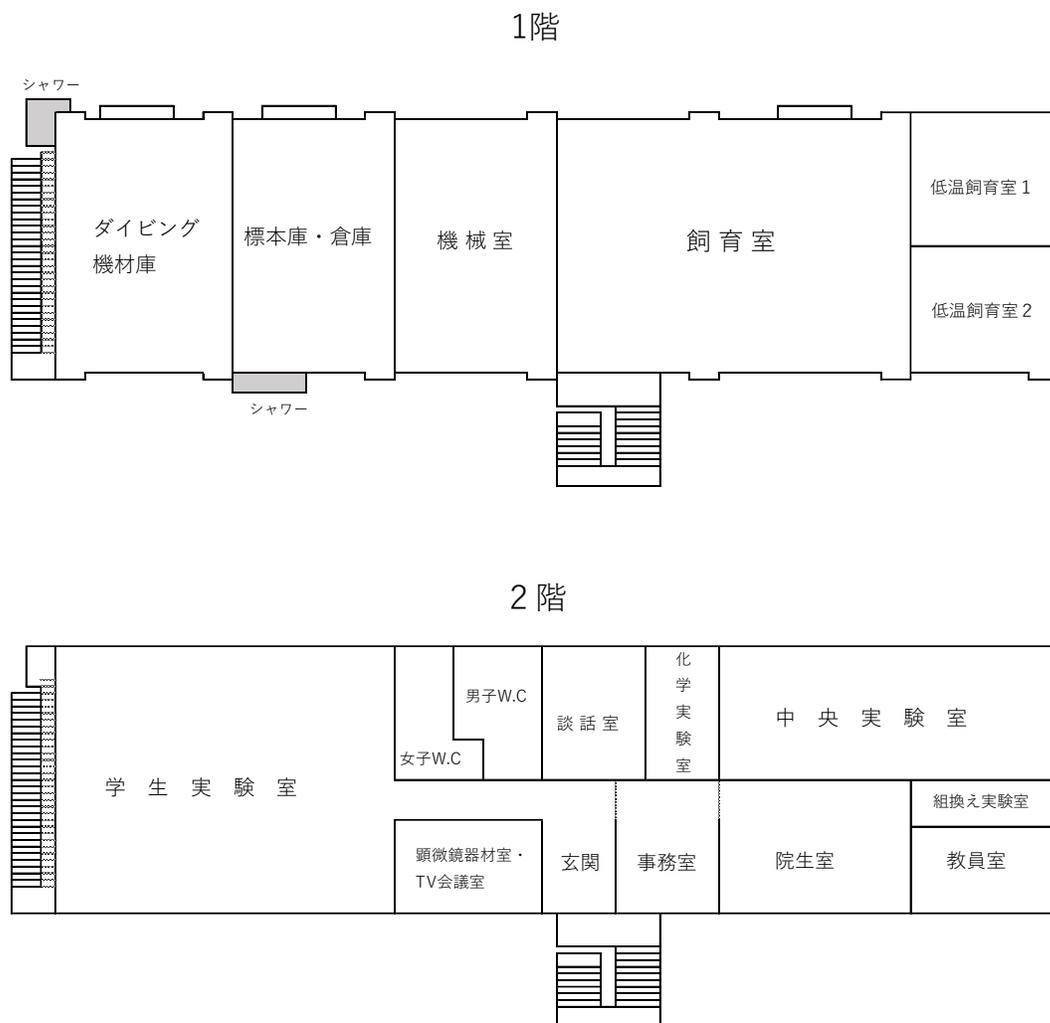
## 2. 白尻水産実験所利用にあたっての留意事項

1. 実験所内は、実験管理棟および宿泊棟、いずれにおいても全所内禁煙です。
2. 夜は大声を出し騒がないこと。特に、夏季（7～8月）は夜10時を過ぎて騒がない。その間の町民の大半（漁師と漁の手伝い人）は、夜10時就寝、朝4時起床の生活です。
3. 実習期間を除き、食事は自炊です。食器、台所使用後は、「使用前よりも綺麗を」心掛けて下さい。外食される方は、『4. 実験所周辺のショップと食堂マップ』をご参考下さい。
4. 食堂の冷蔵庫は、シェアして自由に使ってください。残った食材、調味料、酒類は、退所する際、必ず処分して下さい。在留者に譲渡する場合、引き継ぎを完璧にして下さい。
5. トイレは次に使う人のために綺麗を心掛け、便器の外を汚物、吐瀉物で汚した場合、各自で片付けてください。
6. 実習期間を除き、お風呂は厨房横の浴室を使ってください。
7. ストーブは使用方法を理解した上で、ご使用下さい。厳冬期はタイマーを上手に使って、暖を取って下さい。
8. 衣類を室内で干す際、各部屋のコートハンガーを使ってください。濡れものをロッカーやクローゼットに吊さないこと。不足する場合、宿泊棟2階の休憩室のコートハンガーを使ってください。
9. 洗濯する場合、男子は宿泊棟2階の洗濯室の洗濯乾燥機を、女子は厨房横の浴室内の洗濯乾燥機を使ってください。洗剤は各自でご用意ください。
10. 寝具を使用する前に、必ず布団カバー、シーツ、毛布カバー、枕カバーをつけて下さい。使用後は、カバー類を外し、玄関奥の段ボール箱または部屋の前の廊下に置いて下さい。
11. ゴミの分別にご協力下さい。分別基準は函館市内と同じです。弁当殻のプラスチックは、厨房で洗剤を使い洗浄し、カウンターテーブル上で乾燥させて、資源ゴミとして出してください。
12. 退所する際、各部屋にある箒などを使い、各自が使った寝室やベッド周りを掃除して下さい。
13. 実験管理棟2階は、無線LANが設備されておりますが、学内の方は、学内のインターネットの登録済みであれば使用できます。各研究室で登録してください。こちらでは受け付けできません。また、学外の方、スマートフォンの接続はできません。

### 3. 白尻水産実験所見取り図と駐車場

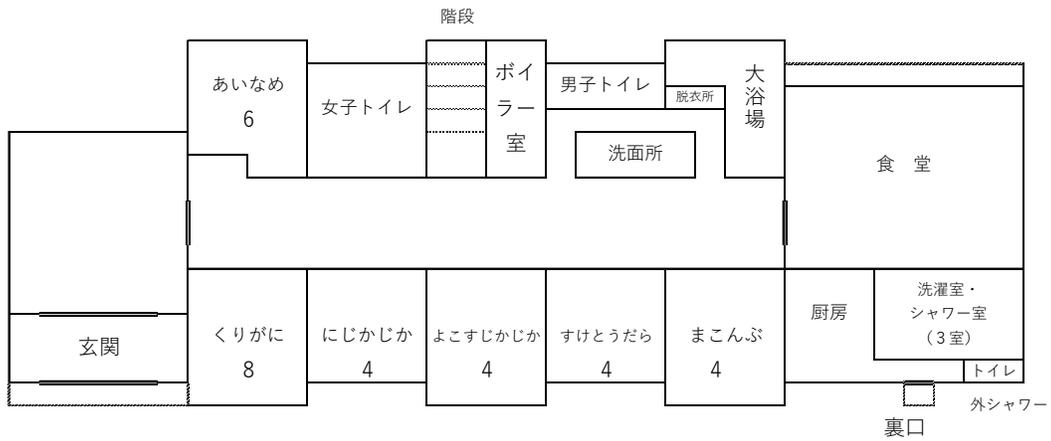
①-実験所の見取り図（実験管理棟2階は無線LAN環境）

白尻水産実験所実験棟見取り図

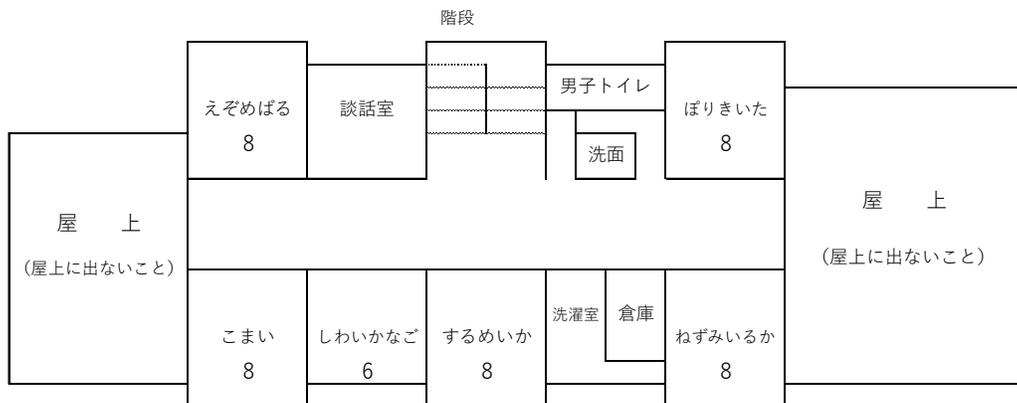


# 白尻水産実験所宿泊棟見取り図

## 1階



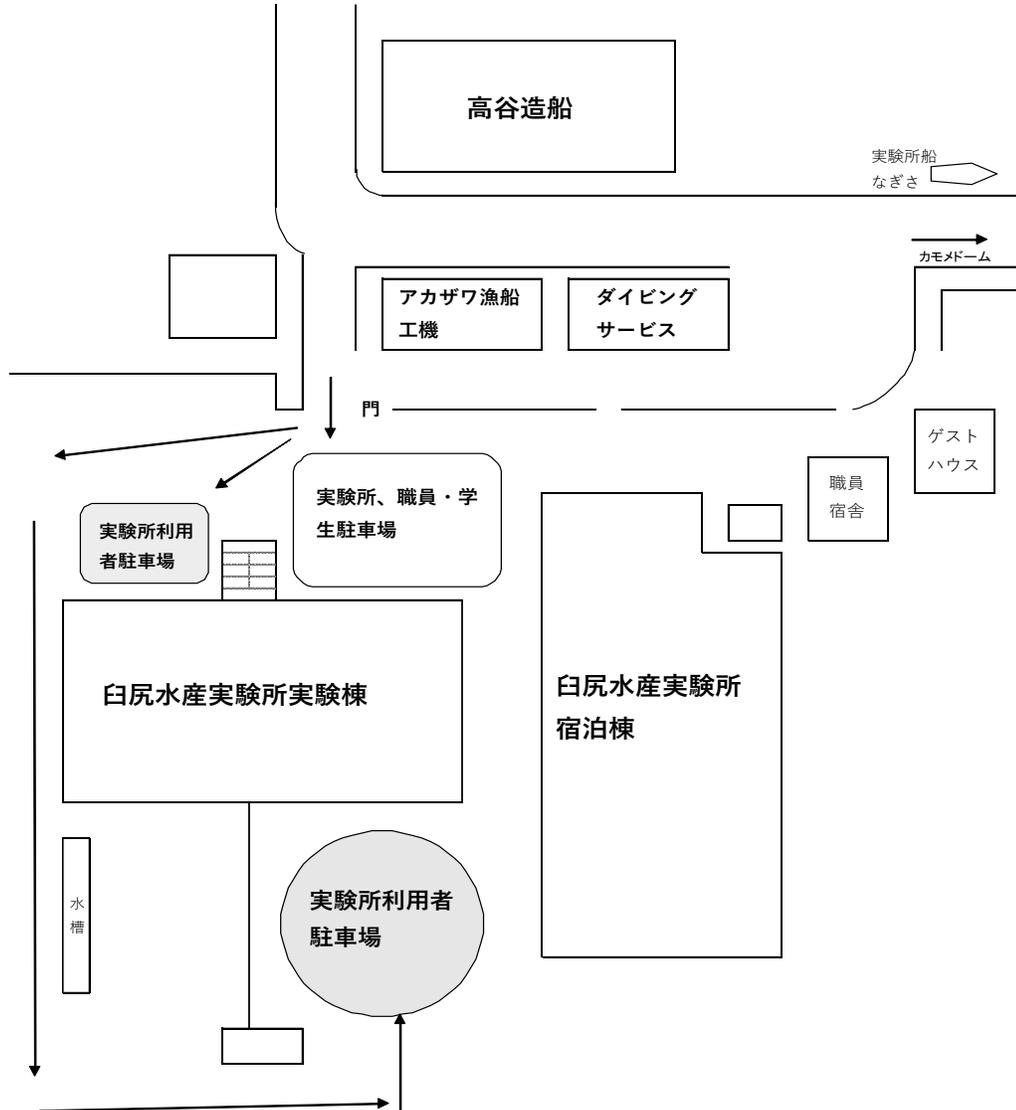
## 2階



## ②-駐車場

研究で来所および実習時は図の場所に駐車して下さい。

- ・ 「実験所利用者駐車場」に駐車して下さい。
- ・ 決められた場所以外に駐車しないように
- ・ 整備不良で騒音の大きい車の運転は、自重ください。
- ・ 飲酒運転は、言うまでもなく厳禁です。

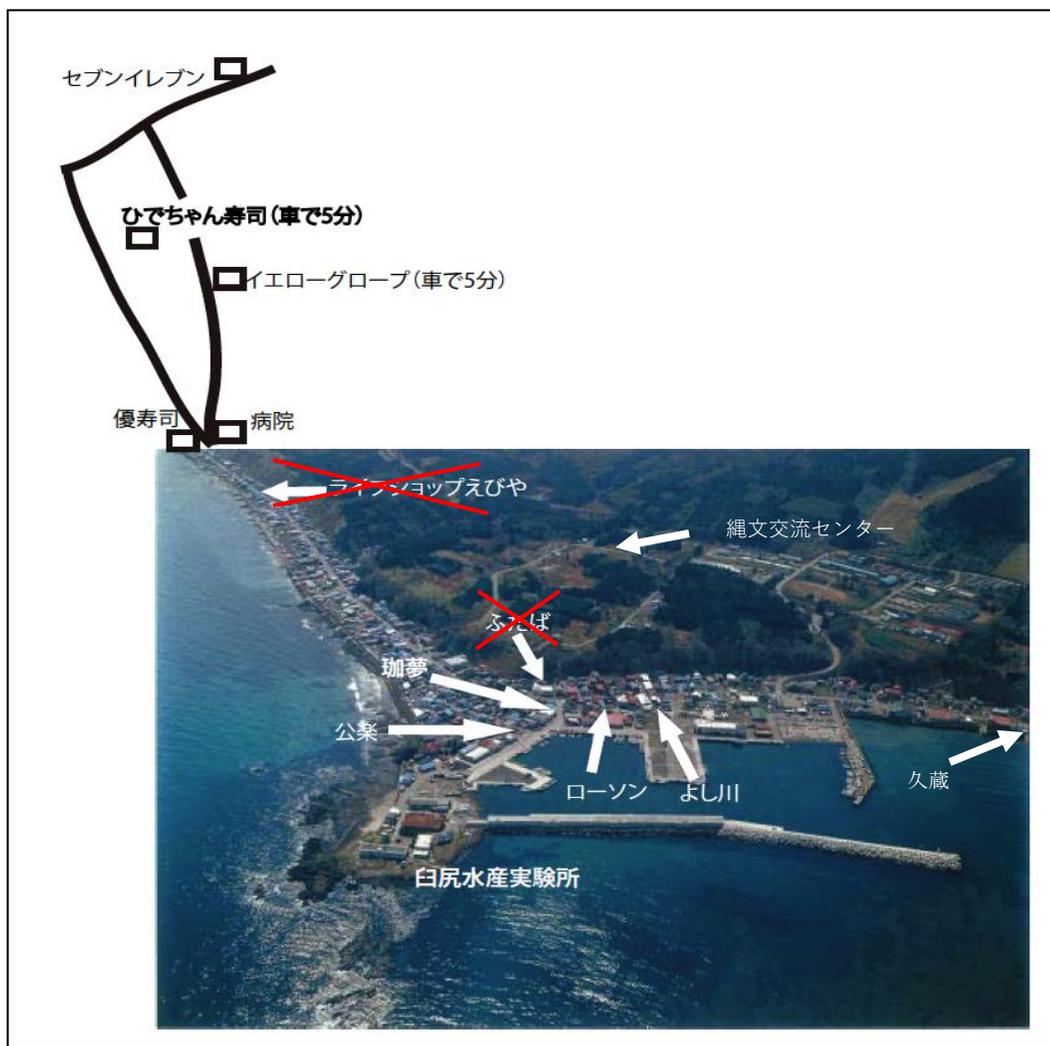


#### 4. 白尻水産実験所周辺のショップと食堂マップ

##### 実験所周辺お薦めサイト

- ・ローソン白尻店 (徒歩5分) 酒類の品揃いはなかなかのもの ☆☆☆
- ・公楽 (徒歩4分) 昼は食堂、夜は寿司屋 ☆☆
- ・よし川 (徒歩5分) ラーメン、丼、夜は寿司屋かも ☆☆
- ・珈夢 (徒歩4分) 2010年6月オープンの喫茶店、軽食もある ☆☆☆
- ・イエローグローブ (車で5分) カップ麺、菓子、おかずも揃う ☆☆☆
- ・ひでちゃん寿司 (車で5分) そば、丼、定食類をサーブする。白尻院生お薦め! ☆☆☆
- ・セブンイレブン (車で5分) ローソンに飽きたらね ☆☆
- ・久蔵 (車で5分) 旅館内にある手打ち蕎麦屋 ☆☆☆
- ・函館市縄文文化交流センター 食事はないがソフトクリームが☆☆☆

##### マップ



## 5. 災害時について

臼尻水産実験所は、海岸直上にあります。そのため、津波はもとより低気圧通過時など、危険な状態になることがあります。大きな地震が発生した時は、素早く高台に避難して下さい。低気圧が接近している時は、テレビやインターネットなどを使って情報収集して下さい。南米のチリなど遠くで発生した大地震に対しても津波の警戒をして下さい。また、町内の有線放送でもローカル情報が得られるので、放送開始の合図が聞こえたら、耳を傾けて下さい。

函館市内に通じる川汲街道は、大雨の時は土砂崩れ、冬季は雪崩が発生することがあります。有線放送から流れる情報を聞き逃さないで下さい。

### 《東日本大震災における当地の状況》

2011年3月11日に午後2時46分頃に発生した東日本大震災では、震源地から直接伝搬した津波は、それほど大きなものではありませんでしたが、噴火湾岸部や日高海岸から反射し複雑に干渉し合った津波が夜間になって臼尻漁港に押し寄せ、漁港周辺は2度にわたり冠水しました。当実験所は船の巻き上げ機の浸水のみで、建物や敷地内では被害はありませんでした。しかし、対岸の日高沖などで地震が発生した場合は、すぐに当海岸に達するので、揺れを感じたら、テレビなどの地震情報でご確認下さい。

## 6. 実験所利用料金について

臼尻水産実験所利用に際し、以下の項目の経費がかかります。

経費項目	金額(/人)	用途など	
クリーニング代			
(7月～9月:掛け布団なし)	740円/10日	(洗濯屋さんへ)	
(10月～6月:掛け布団あり)	1,100円/10日	(洗濯屋さんへ)	
雑費	100円/泊	現金(実験所へ)	
使用料(5月～10月)	450円/泊	現金(国庫へ)	*
(11月～4月)	520円/泊	現金(国庫へ)	*
利用負担金	400円	各講座から流用処理 (実験所へ)	**

\*臼尻水産実験所は、北海道大学学内利用施設として設置されているため、学内利用者は、国庫へ納める「使用料」は免除されます。

\*\*実験室、飼育室、船など調査研究利用の受益者負担金で、宿泊しない場合でもかかります。大型循環水槽や調温装置など電気容量の大きな機械の持ち込み利用は、別途定めます利用負担金の規則により使用分の電気代を流用処理します。学外者は、関連研究室からの流用などにより経費負担をお願いします。なお、実習の時は無料です。

計算例、

学内者 1日 (夏季)	--現金 740+100=	<u>840円</u> (+流用 400円)
学外者 1日 (夏季)	--現金 840+450=	<u>1,290円</u> (+流用 400円)
学内者 1週間 (冬季)	--現金 1,100+100 x 7=	<u>1,800円</u> (+流用 2,800円)
学内者 11日間 (冬季)	--現金 1,100 x 2+100 x 11=	<u>3,300円</u> (+流用 4,400円)
学外者 1か月 (冬季)	--現金 1,100 x 3+100 x 30+520 x 30=	<u>21,900円</u> (+流用 12,000円)

臼尻水産実験所利用者各位殿

平成 14 年 4 月 1 日

**北海道大学北方生物圏フィールド科学センター利用内規の施行通知および臼尻  
水産実験所利用負担金の改定のお知らせ**

北海道大学北方生物圏フィールド科学センターは、去る平成 14 年 3 月 4 日の教授会において上記の利用内規（別添）が定められ、平成 14 年 4 月 1 日より施行いたします。

それに伴い、利用申し込み手続きが「研究科長を通じ申請し、センター長の許可を得る」となりました。ただし、運用上は「実験所長へ申請し許可を得る」ことで煩雑な手続きは省略いたします。

センター利用内規施行に伴い、昭和 47 年より一人一日 300 円流用を求めていた臼尻水産実験所の利用負担金（協力費）は、平成 14 年 3 月開催された北方生物圏フィールド科学センター利用者連絡会議において、内規に定められた利用負担金として、4 月 1 日より以下のように規定されます。

**利用負担金**

1. 一人一日 400 円とする。
2. 電力消費する機械類の使用は、事前協議を必要とし、調温設備など経費負担が大きい機械を稼働させる場合は、消費電力に応じて経費負担を求める。算出根拠として、当面は、 $1 \text{ kW (消費電力)} \times 400 \text{ 円/日}$ とする（契約電気料金=約 20 円/ $\text{kwh}$ ）。

（補足）

**協力費からの改定理由**

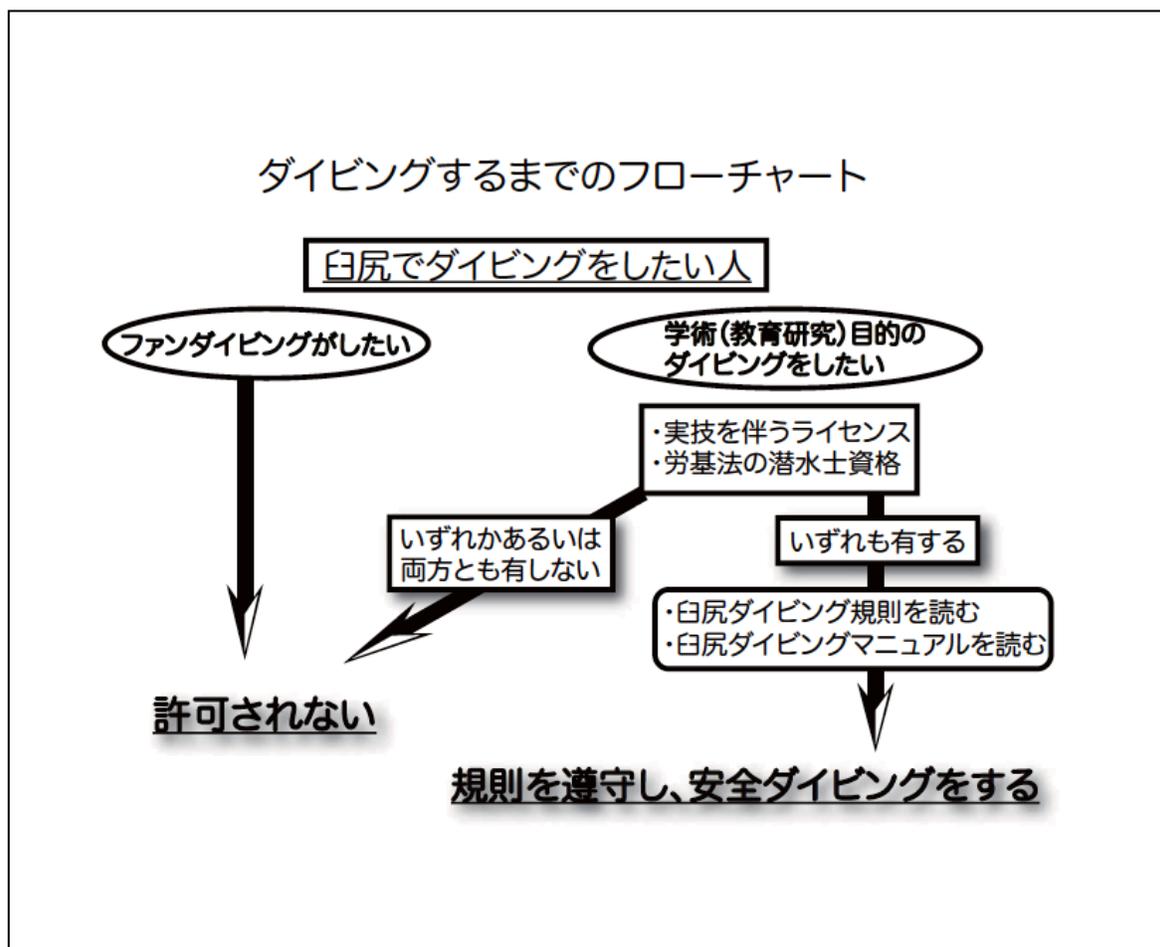
1. 光熱水量経費が主な実験所管理運営経費であること。
2. 光熱水量経費の増加は、利用者の増加と相関しているが、利用料の流用増を越えること。
3. センター移行に伴い、光熱水量が部局中央負担であったのが、実験所経理負担となったこと。
4. 利用内容が多岐にわたり、受益者負担の不平等が著しくなったこと。

## 7. 潜水活動について

以下の規則に従って、潜水活動が可能です。また、潜水作業者は、白尻水産実験所ホームページにあります『安全管理マニュアル』を熟読して下さい。実際の作業にあたっては、その都度、実験所教員にご相談ください。

なお、『安全管理マニュアル』に沿った潜水活動であっても、トラブルの責任は、潜水者自身およびその指導者にあることを覚悟下さい。また、リスクが高い、法に触れる、あるいは他の調査の妨げになると判断される計画に対しては、中止を命ずることもあります。

### ①白尻水産実験所において許可される潜水活動と必要な資格



## ②申請手順

1. 潜水作業者と指導教員は、白尻水産実験所ホームページにある『安全管理マニュアル』をダウンロードし、熟読する。
2. 以下のダイビング規則を理解する。
3. 次ページにある『教育・研究目的潜水活動許可申請書』を提出する。道の特別採補許可が必要な調査は事前に得ておくこと。
4. 指導教員は、潜水開始と終了を携帯電話により、リアルタイムでダイバーから連絡を受けること。現地に同行しない場合も、絶対に手綱を緩めない!!

### 白尻水産実験所 ダイビング規則

1. 当実験所でのスキューバダイビングは、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター安全マニュアル (<http://www.hokudai.ac.jp/fsc/>) に沿うことを原則とします。
2. 当実験所でのスキューバダイビングは、研究や調査など学術目的に限ります。また、学術目的に関連するスキルアップダイビングも妨げられません。
3. 当実験所でスキューバダイビングをするには、PADI、NAUI など実技試験を伴う潜水ライセンスと労働基準法で定められている潜水士資格が必要です。
4. 当実験所でスキューバダイビングをする際、最低限以下の事項を遵守して下さい。
  - a. 必ず、複数（陸上監視者を含む）で実施すること
  - b. 必ず、ダイビング計画（目的、場所、時間など）を陸上監視者に事前に伝え、その内容に沿ったダイビングをすること
  - c. 必ず、潜水リーダーはブリーフィングを行い、合図などを随伴ダイバーに周知させること
  - d. 必ず、ビーチダイビングの場合は、安全ブイをポイント近くに設置すること（潜水フラッグを所定の場所に立てることで代替可）
  - e. 必ず、ダイビング終了後、白尻ダイビングログにある記載事項を記録すること
  - f. 必ず、実験所の機材類は水洗し、もとの場所に戻すこと、使用中に故障や不調が認められた場合、その詳細をログに記載し、管理者に報告すること
5. 上記の規則を遵守できない方は、あるいは遵守する自信のない方は、潜水を中止して下さい。
6. 上記の規則は、白尻水産実験所調査区域内でダイビングする全ての人に適用されます。  
但し、シュノーケリングには、ダイビング資格は必要ありません。

本規則は、平成 18 年 8 月 1 日より施行する。

④ 『教育・研究目的潜水活動許可申請書』

教育・研究目的潜水活動許可申請書

北大臼尻水産実験所提出用

提出年月日 平成 年 月 日

氏名(学年)
所属研究室
目的(採集許可など、漁協、知事許可を必要とする計画は、必ず許可を得ていること) 許可の有無 (許可済み・申請中・申請予定) 該当する方に○を付ける
計画内容(日時、場所などを出来るだけ詳細に記載すること)
指導教員名(署名または押印なき申請書は不許可)
返信欄(実験所記載)

**注意事項**

ファクスまたはPDFファイルのメール送信で、毎回申し込むこと。

潜水予定日の3日前までに実験所に連絡すること。

やむを得ない場合は、許可申請書を当日持参でも良いが、書類が完全であること  
実験所に待機ダイバーが不在となる場合は、陸上待機者を用意すること。

指導教官は、潜水終了後に、メールないし電話で無事の連絡を受けること。